

## 2007年度日本留学フェア・レポート(台湾・韓国編)

留学生センター講師 塩井 実香、高水 徹

日本留学希望者を対象に、毎年数ヶ国でJASSO主催の大学説明会が開催されており、本学は一昨年、昨年に引き続き、留学生増を望む台湾と韓国のフェアに参加しました。

台湾では7月28日(土)高雄、29日(日)台北で行われ、湯浅留学生グループリーダーと塩井が参加。総来場者5,708名中、本学ブース訪問者は144名。韓国では9月8日(土)釜山、9日(日)ソウルで行われ、白井同チーフと高水が参加。総来場者6,219名中、本学ブース訪問者は162名。いずれも来場者数は過去最高を記録し、本学ブースも、配布資料が足りず昼食を摂る間さえないほどの大盛況で、留学熱の高さを痛感しました。

滞在の合間を縫って、台湾では国立政治大学・南台科技大学・香川アンバサダーを、韓国では日本国大使館広報文化院・JASSO韓国事務所・大邱大学校を訪問し、広報と情報収集に努めました。この10月より大邱大学校から初めての私費留学生を5名迎えることができましたが、一昨年来の効果が見え始めたのだとしたら嬉しいものです。今後も私たちは有意義な国際交流推進を目指してまいります。

### 台湾(台北)



▲台湾(高雄開会式)

### 韓国



▲相談の様子(韓国・釜山会場)



▲相談の様子(台湾・台北会場)



## 短期日本語プログラムによる学生交流の推進



留学生グループリーダー 湯浅 賢一

皆さん、本学の留学生はどこからやって来ているか知っていますか?もちろん、圧倒的に多いのは中国(64.3%)です。次はタイ王国(13.7%)なんです。意外でしょう!一般的な大学では、2番目に多いのは、韓国(Korea)の留学生です。(昨年まで、わずか3名)では、なぜ少ないのでしょうか?

それは本学の良さがあまり知られていないのも一因と思われます。そこで、留学生センターは、韓国の大邱(テグ)大学と話し合いを進め、今年度後期から、新たに「短期日本語プログラム」を開始し、科目等履修生として5名の学部留学生を受け入れています。このプログラムは、単なる単位取得を目的としたものではなく、留学生センターが実施する

課外活動行事に参加することや、地域の方々と交流を行うホームステイ体験も組み入れたバスケット方式と呼ぶプログラムとしています。また、日本語の上達のためには、学生とのふれあいも効果のある実践的な体験学習と考えています。このような本学或いは地域の良さをアピールするプログラムを展開し、世界各国から留学生が集える大学にしたいと思いますので、留学生には、積極的に声を掛けるなど皆様のご協力をお願いします。



▲留学生歓迎会にて(大邱大学からの留学生 左側の5名)



## シンポジウム「香川大学留学生の生活実態について」の開催

留学生グループチーフ 塩田 純久

10月31日(水)に、本学において、シンポジウム「香川大学留学生の生活実態について」を開催しました。

このシンポジウムは、昨年10月11日～11月17日にかけて実施した「留学生学生生活実態調査」の報告書に基づき、初めて開催しました。

狙いは当然、留学生の声を大事にして、改善すべきところを大学内外の関係者に公開することです。問題の中には、かなり深刻なものもあり、それらの問題が大きくなる前に、対策を考える必要性が求められています。問題がすべて改善

出来るとはもちろん言えませんが、まず留学生の学生生活の実態を、大学のスタッフ、学生及び地域住民に知ってもらい、留学生への生活実態に対する理解を深めることも狙いの一つです。今後このシンポジウムで出された意見等を参考にして、留学生の学生生活の改善に努めたいと考えております。



## 留学生課外教育行事を通して

教育学研究科2年 朴 麗娜



▲金閣寺にて

この度、外国人留学生に対する課外教育行事で、奈良及び京都を見学させて頂きました。御陰様で、素晴らしい日本の文化に触れる事ができ、また、先進国の日本企業の技術を拝見する事ができまして、とても勉強になりました。この場を借り、行事に参加した留学生の皆さんを代表して、見学の企画から実行まで色々御苦勞をなされた留学生グループの先生方に深くお礼を申し上げます。

今回は、万博記念公園やサンヨーミュージアムを含め、約11箇所を見学する事ができました。同じ留学生同士でも、普段はそれぞれが留学の目的が違ったりしたため、あまりコミュニケーションができていませんでしたが、この見学を通してしっかり交流が出来たと思います。奈良公園での見学では、御辞儀

ができる鹿たちがいて、皆さんはその可愛らしさに癒されながら、鹿せんべいをあげたり、一緒に写真を撮ったりして無邪気で平穩な時間を楽しんでいました。暖かい日光を浴びながら、優しい動物と素晴らしい文化を肌で感じつつ素直に感動を共感している見学の皆さん、そして、世界各国から来られた観光客の皆様にはとっても優しく、美しい笑顔が輝いていました。「平和とは、まさにこういうことでは!」と私は考えました。

今回の課外教育行事を通して、自然の大事さや美しく素晴らしい日本の文化、そして、器用な日本人の知恵に感動しました。最後に、私たち留学生の皆に、このような有意義で充実した時間を作ってくださった留学生グループの先生方にもう一度感謝の言葉を申し上げます。



▲万博記念公園にて



▲奈良公園・東大寺にて



▲キョウト京都工場にて



▲宇治平等院にて



▲金閣寺にて



▲龍安寺にて



▲東映太秦映画村にて



▲京都八つ橋庵にて



▼タオル美術館にて  
今治(第2回課外教育行事)



▲JFEスチール西日本製鉄所にて  
福山(第2回課外教育行事)

## 地域社会との交流について

留学生グループチーフ 塩田 純久

本学外国人留学生は、地域の国際交流活動のために貢献しております。すべてを紹介することはできませんが、その一端を次のとおりご紹介いたします。なお、その他、本学外国人留学生は、かがわ国際フェスタ2007(10/28)等の地域の国際交流活動に、その都度参加し、地域との交流を深めています。

### 1. 外国語夏期特別編(マレー語)

アイバル香川(香川県国際交流協会)  
7月14日(土)、7月21日(土)、7月28日(土)



工学研究科博士後期課程2年  
Wan Khairunizam Wan Ahmad(マレーシア)

### 2. 韓国人留学生等との座談会

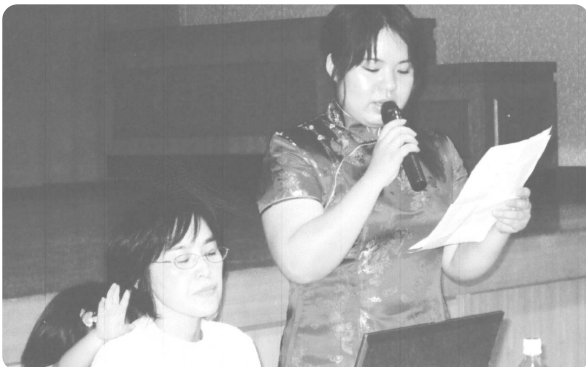
香川県立琴平高等学校 7月6日(金)



連合農学研究科1年生 金 鎮國(韓国)

### 3. 「星を見る会」(主催コットンツリーの会)

高松市立鬼無小学校 8月28日(火)



地域マネジメント研究科1年 吳 志卓(中国)(朗読)

### 4. 平成19年度外国語講座(4月期、9月期)

アイバル香川(香川県国際交流協会)  
・中国語入門講座



教育学研究科2年 王 静(中国)

・ハンゲル語入門講座



教育学研究科2年 張 愛順(中国)

5. 王静さんと張愛順さんは、香川大学では、学生・教職員対象の中国語会話(初級)講座と韓国語会話(初級)講座の講師です。また、中国語会話(初級)については、教育学部3年李黎燕(中国)さんも講師として参加しています。

6. 留学生との英語による交流会 香川県立三本松高等学校 11月16日(金)



教育学部研究生 NGUYEN THI THU NGUYET (ベトナム)



医学系研究科1年 KAZI RAFIQU L ISLAM (バングラデシュ)



経済学研究科2年 DE LA CRUZ DOMINGO VLADIMIR (ドミニカ共和国)



農学研究科2年 HOSSAIN MOHAMMAD ANWAR (バングラデシュ)



工学研究科研究生 Mahfuzah binti Mustafa (マレーシア)



連合農学研究科2年 DAO TAN VAN (ベトナム)



医学系研究科2年 NICOLAS MAURICIO (アルゼンチン)

